



坂部保育園

工事費 311,850,000円
 所在地 坂部468番地1
 構造 鉄筋コンクリート造平屋建て

延床面積 973.12平方メートル
 定員 80人



1 新築された坂部保育園の園舎。周囲の景観と調和するよう設計された2ホールの一隅に設置された図書コーナー。坂部財産区がソファーと絵本を寄贈3カラフルに5色で彩られたトイレのドア。園児が手を挟まないように設計されている4各保育室と直結し、一体感があるホール。自然の光が差し込み明るい5保育室のベランダから直接行き来ができる芝生の園庭。乳児が安心して遊ぶことができる



市内の公立保育園・幼稚園の耐震化事業において、昨年から建築中の坂部保育園の工事が、このほど無事に完了しました。

園舎は地震に強い鉄筋コンクリート構造。保育の安全性と利便性を考慮し、平屋建てにしました。

内装には木をふんだんに使い、天井に明かり取りの天窗を設置することで太陽の光や自然の風を取り入れ、明るく温かみのある空間となりました。ホールを中心に各保育室が配置されていることで、年齢に関わらず交流する機会が増え、子どもたちの遊びの幅が広がります。

職員室は園庭を見渡せるように配置され、防犯カメラと共に園児たちを見守ります。園庭の一隅には畑を設け、今までと同様に野菜を栽培することで、園児たちは自分の手で野菜を収穫し、季節の味覚を味わうことができます。

また、乳児用の園庭を設けることで、安全に楽しく遊ぶことができます。

地元の坂部財産区から、園児のために総合遊具やテレビ絵本などが寄贈されるなど、地域全体で子どもたちを育てる体制が作られています。

インタビュー



坂部保育園 岩堀 朱実 園長

のびのびと思いやりがある子に

東日本大震災が起こってから、一刻も早く園舎が完成し、子どもたちが安全に生活できることを心待ちにしていました。園舎の細部にわたり、子どもたちが使いやすいように工夫されています。この明るい園舎で、これからも地区の方々から愛され、のびのびと思いやりのある子どもたちを育てていきたいです。



保護者会 榎林 鉄也 会長

この園舎で健やかに育て欲しい

6歳の息子が保育園に通っています。3月に地震が起こったとき、正直、早く新しい園舎ができないかと焦りました。関係者の皆さまのおかげで、地域の宝である子どもたちを守る施設がようやく完成して、とても感謝しています。子どもたちには、この園舎を十分に使い、健やかに育てて欲しいです。



輝く未来のために

全ての保育園・幼稚園の耐震化が完了

市では、災害時に子どもたちの安全を守るため、合併当初から耐震強度が不足している保育園と幼稚園の耐震化を重要な施策に位置付け、進めてきました。そして、坂部保育園の完成により、平成19年1月に策定された「市保育園等の施設整備計画」から約5年と約21億円をかけた全ての園の耐震化が完了し、安心して子どもを預けられる安全な施設になりました。

問い合わせ 幼保支援課 松浦 ☎030075